

休眠預金活用事業 事業計画

申請事業名(主)	フェア & 未来に向け持続可能な社会促進事業
申請事業名(副)	～社会的弱者との共同によるアンフェアな社会の改善～

申請事業の種類1	②イノベーション企画支援事業
申請事業の種類2	
申請事業の種類3	
申請団体名	新東通信

優先的に解決すべき社会の諸課題

領域①	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	分野①	① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援;② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援;③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
領域②	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	分野②	④ 働くことが困難な人への支援;⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援
領域③	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	分野③	⑥ 地域の働く場づくりの支援;⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
領域④		分野④	

その他の解決すべき社会の課題	
----------------	--

SDGsとの関連

ゴール	ターゲット	関連性の説明
1.あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	1.4 2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、全ての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。	社会的弱者との共同によるアンフェアな社会の改善を目指す本取組みは、「誰一人取り残さない」というSDGsの思想に合致する。
8.すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する	8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。	経済的な課題を抱える家庭・若者・シニア、障害者と協業し、社会的弱者の参画型で商品開発、ブランド構築を目指す本取組みは、SDGsの思想・ゴールに合致する。
10.国内および国家間の格差を是正する	10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。	経済的困窮など家庭内に課題を抱える世帯の支援を目指す本取組みは、SDGsの掲げる格差是正に貢献できる。
12.持続可能な消費と生産のパターンを確保する	12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。	社会的弱者向けの商品をリサイクルをベースにした素材で生産することを目指す本取組みは、SDGsの持続可能な生産・消費サイクル構築に貢献できる。
12.持続可能な消費と生産のパターンを確保する	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。	社会的弱者向けの商品をリサイクルをベースにした素材で生産することを目指す本取組みは、SDGsの持続可能な生産・消費サイクル構築に貢献できる。

実施時期	2020年11月～2024年3月	直接的対象グループ	経済的な課題を抱える家庭・若者・シニア、障害者などのエクストリームユーザー。 ※エクストリームユーザーの定義は、Ⅲ-(1) 申請事業の概要を参照。	間接的対象グループ	エクストリームユーザーを支援する団体およびエクストリームユーザー向けの商品開発をする団体・組織
対象地域	中部地域	人数	実行団体が確定してから設定	人数	実行団体が確定してから設定

I.団体の社会的役割

(1)申請団体の目的
当社は地元愛知県、中部地域に根付く広告会社として、“”発想のマーチャンダイジング”からヒューマンクリエイティブを通じて、地域を元気にすることを目的に2030年に向けた持続可能な地域社会の構築に向けて、貢献していきます。
(2)申請団体の概要・活動・業務
中部地域の企業に向けたSDGsの普及啓発事業を独自に展開しており、SDGsに関連するセミナー講師やコンサルティング活動を受託し実施している。その他、愛知県・名古屋市のSDGs関連の啓発・人材育成事業を多数実施しており、市町村職員向けSDGs研修及び多様な主体と連携したSDGsシンポジウムの開催、SDGs普及啓発資材の作成等を通じて、地域の課題解決への支援、地域振興に繋がる取り組みを行っている。

II.事業の背景・社会課題

(1)社会課題概要
アンフェアで持続困難な社会
(2)社会課題詳述
世界的には最も豊かな8人が世界の貧しい半分の36億人に匹敵する資産を所有している一方で、10人にひとりが一日2ドル以下でしのぐことを余儀なくされている現状。日本でも近年ボリュームアップしている高齢者層に加え、若者の間での経済格差が広がりつつある。
(3)課題に対する行政等による既存の取組み状況
経済的支援として、児童扶養手当や児童養護施設退所者等に対する自立支援資金の貸付、生活支援として生活困窮者自立相談支援事業、教育の支援として幼児教育の段階的無償化や奨学金制度の充実等、資金的な支援が主。但し、現場が必要とする支援に結びついているかどうかは不明。
(4)課題に対する申請団体の既存の取組状況
現状、何も行っていないが、今後、インクルーシブデザインのスキームを活用した社会的弱者支援を積極的に行っていく方針。
(5)休眠預金等交付金に係わる資金の活用により本事業を実施する意義
アンフェアな社会の是正を通じ、誰も取り残されないフェアで持続可能な暮らし・社会の実現に寄与する。

III.申請事業

(1)申請事業の概要	
<p>経済的な課題を抱える家庭・若者・シニア、障害者などと協業、彼らの社会参加の機会や雇用を創出しつつ、① インクルーシブデザインのスキームを活用して、社会的弱者が参画する形での商品開発や開発事業体を組織運営しつつ商品開発・販売を行う、② LIMEX素材の活用により、2030年SDGs対応型商品として差別化、事業メリットを強化することで、事業ゴールの「インクルーシブな社会の実現」に寄与することを目指す事業（注：LIMEXは石灰石由来の複合素材で、紙・プラスチックの代替となる、持続可能な社会実現に寄与する日本発の素材）。</p> <p>インクルーシブデザインとは、これまで社会から排除されてきた人（エクストリームユーザーと言う）とともにデザインに取り組む社会設計の概念・手法。デザインの過程を「デザイナーが」担うユニバーサルデザインに対しエクストリームユーザーを巻き込み、初期段階からともにデザインを進めていくのがインクルーシブデザイン。エクストリームユーザーの気づきや意見、感情に耳を傾け、当事者ならではの着想を活かして社会全体に有用なモノやしくみを作り上げていけるのが特徴。</p>	

(2)インプット							
資金	①事業費 (自己資金含む)	内訳：実行団体への 助成金等充当額	管理的経費	②プログラム・オフィサー関連経費	③評価関連経費	④助成金申請額	⑤補助率
	¥248,950,000	¥170,000,000	¥78,950,000	¥24,666,000	¥9,845,000	¥241,961,000	79.9

(3)活動(資金支援)		時期
事業活動 0年目	インクルーシブデザインの概念・メソッドに沿った商品・サービス、ブランドの開発計画の策定。 ①資金分配団体への事前相談実施、②資金分配団体への応募・事業提案、③実行団体の選出、④出資計画等事業計画の合意、⑤出資受け入れと事業推進、 ⑥実行団体との連動（PDCA共有）	2020年11月～2021年3月
事業活動 1年目	1年目で計画および実行団体と共有したスキームに沿い、インクルーシブデザインの商品・サービスを市場向けに投入準備を進める。 ①ブランドの上市計画の策定、②流通開始・コントロール、③市場反応の調査・フィードバック、④PDCAサイクルによる最適化	2021年4月～2022年3月
事業活動 2年目	インクルーシブデザインの商品・サービスをフックとした「持続可能なエコサイクル」の仕組みが実行指定地域において実行される。【第1フェーズ】 ①エコサイクル社会実験指定地域の選定、②エコサイクル展開計画の策定、③関係者によるローンチ準備、④ローンチ開始・モニタリング	2022年4月～2023年3月
事業活動 3年目	インクルーシブデザインの商品・サービスをフックとした「持続可能なエコサイクル」の仕組みが実行指定地域において実行される。【第2フェーズ】 ①ローンチ開始・モニタリング、②計画期間内のPDCA、③評価活動・フィードバック	2023年4月～2024年3月

(4)活動(組織基盤強化・環境整備(非資金的支援))		時期
事業活動 0年目	インクルーシブデザインの商品・サービスの開発を実現するために、それを推進するために必要な情報・ソースの提供等の支援を行う。事業遂行期間、継続した伴走支援を行う。 ①外部パートナー・ネットワーク紹介、②エクストリームユーザーを含む開発チームの人材・団体紹介、③インクルーシブデザイン研修・コーチング、④バックオフィス機能支援、⑤マーケティングリソース提供支援、⑥広報・プロモーション展開支援	2020年11月～2021年3月
事業活動 1年目	インクルーシブデザインの商品・サービスの開発を実現するために、それを推進するために必要な情報・ソースの提供等の支援を行う。事業遂行期間、継続した伴走支援を行う。(内容は事業期間を通じ、共通)	2021年4月～2022年3月
事業活動 2年目	インクルーシブデザインの商品・サービスの開発を実現するために、それを推進するために必要な情報・ソースの提供等の支援を行う。事業遂行期間、継続した伴走支援を行う。(内容は事業期間を通じ、共通)	2022年4月～2023年3月
事業活動 3年目	インクルーシブデザインの商品・サービスの開発を実現するために、それを推進するために必要な情報・ソースの提供等の支援を行う。事業遂行期間、継続した伴走支援を行う。(内容は事業期間を通じ、共通)	2023年4月～2024年3月

(5)短期アウトカム(資金支援)	指標	初期値/初期状態	目標値/目標状態	目標達成時期
本事業を展開したエリアにおいて、インクルーシブなエコシステムが構築・提案され、将来的なスタンダード化に向けて、関与者が拡大している。	①対象実行団体数 ②実行団体と連携している地域内外の事業者数 ③実行団体が雇用するエクストリームユーザー就業者数の増加数	① 0 ② 0 ③ 0	①5団体 ②10団体 ③50人	2024年3月
実行団体によるその特徴を生かした、2030年型SDGs対応新商品・サービスブランドが開発・構築されている。	実行団体による新商品・サービス数	0	10団体	2024年3月
支援先の実行団体間の連携が生まれている。	連携している実行団体数	0	実行団体決定後、設定	2024年3月
実行団体による関連事業者との連携が構築されている。	実行団体が連携している関連事業者数	0	実行団体決定後、設定	2024年3月

(6)短期アウトカム (組織基盤強化・環境整備支援(非資金的支援))	指標	初期値/初期状態	目標値/目標状態	目標達成時期
インクルーシブデザイン概念やメソッドについて各実行団体がそれらを把握・理解・活用し、事業を構築、実践して成果をあげている。	インクルーシブデザイン研修・コーチング回数	0	実行団体決定後、設定	2024年3月
インクルーシブデザイン事業を実行するにあたり必要な人材・ネットワークの調達が効果的にされている。	①実行団体数および連携する関連事業者内のインクルーシブデザイン研修・コーチングの受講者数 ②事業の成果としてのアウトプット（製品・しくみ）の量・質	0	実行団体決定後、設定	2024年3月

(7)中長期アウトカム
事業終了後5年後に中部地域において、フェアな社会の構築とそのエコシステムの「持続可能」化が実現されている。具体的には、①インクルーシブなスキームから社会的弱者と協業し、意義・価値ある商品・サービスブランドが開発・上市されている、② ①で創出された商品・サービスが、2030年型社会へのシフトに貢献する「持続可能なエコサイクル」を創出している。

IV.実行団体の募集

(1)採択予定実行団体数	5団体
(2)実行団体のイメージ	社会的弱者向け商品開発にも関与の意思・希望を持つ障害福祉、こども支援、就労自立支援を行う社会福祉団体
(3)1実行団体当り助成金額	3500万円
(4)助成金の分配方法	実行団体決定後、確定
(5)案件発掘の工夫	有識者、支援機関関係者等へのヒアリングおよび外部調査専門事業者との連携により案件の発掘を行う。

V.評価計画

項目	事前評価	中間評価	事後評価
提出時期	2021年3月	2022年3月	2024年3月
実施体制	当社事業推進担当・有識者・支援機関関係者等から成る評価チームを編成し、外部調査専門事業者との連携により実行	当社事業推進担当・有識者・支援機関関係者・実行団体担当者等から成る評価チームを編成し、外部調査専門事業者との連携により実行	当社事業推進担当・有識者・支援機関関係者・実行団体担当者等から成る評価チームを編成し、外部調査専門事業者との連携により実行
必要な調査	文献調査;アンケート調査;関係者へのインタビュー;定量データの収集	アンケート調査;関係者へのインタビュー;フォーカスグループディスカッション;ケーススタディ;直接観察;その他	アンケート調査;関係者へのインタビュー;フォーカスグループディスカッション;定量データの収集
外部委託内容	文献調査;アンケート調査;定量データの収集	アンケート調査;関係者へのインタビュー;定量データの収集;その他	アンケート調査;定量データの収集;その他

VI.事業実施体制

(1)事業実施体制	新東通信スタッフ中心に実施。自社単体で不足する能力を外部機関との提携で補う。
(2)コンソーシアム利用有無	コンソーシアムで申請しない
(3)メンバー構成と各メンバーの役割	提携候補：株式会社TBM－持続可能な素材でのインクルーシブデザインの商品開発、エコシステム構築支援を行う。 社会的弱者支援を行うNPO法人・社会团体－連携支援および商品企画・ニーズ取込み インクルーシブデザイン構築支援事業者 ブランド構築支援事業者
(4)ガバナンス・コンプライアンス体制	<ul style="list-style-type: none"> ・運営資金について、区分経理の実施および資金用途帳簿の作成 ・実行団体からの助成金に関する資金用途報告の徹底・厳格運用 ・コンプライアンス相談窓口の設置 ・公益通報窓口の設置 など
(5)リスク管理	課題特定、事業設計、実施段階、事業評価の各断面に置いて、リスクの特定・分析・評価を効果的に行うことで、事前の対策を立てるとともに、リスクが顕在化した時に初動対応を迅速に行えるよう、自社および関係団体に日頃のコミュニケーション、研修を通じ、共有を行う。

VII.出口戦略と持続可能性

(1)資金分配団体	実行団体が関与し創出された商品・サービスが、2030年型社会へのシフトに貢献する「持続可能なエコサイクル」を創出し、それが世の中の常識として、永続的に続いていく。
(2)実行団体	インクルーシブデザインの特徴を生かした、2030年型SDGs対応の新商品・サービスブランドが開発・構築され、社会的弱者が弱者と感じない自然な姿で同化している社会が永続的に構築されていく。

VIII. 広報、外部との対話・連携戦略

(1) 広報戦略
広告会社である当社の強みを最大限に発揮。メディアの選定、協力の取り付け等から、リリースや広告的な発信における表現クリエイティブ、広報ストーリーの策定・実行およびその成果の検証、計画のブラッシュアップまで、一貫して当社内スタッフ（メディア部門・クリエイティブ部門等）連携の下で推進する。広報の範囲としては事業拠点とする中部エリアを中心に全国へのインパクトをねらい活動する。（当社ネットワークは支社、グループ会社が全国にあり、その活用を想定）
(2) 外部との対話・連携戦略
広告会社として50年近く活動してきた当社が保有するネットワークは、自治体・地域の企業・社会活動団体・各分野のスペシャリスト等多岐にわたる。これら各々に対し、本事業の推進過程において、必要に応じ、様々な角度から対話の実行、結果のフィードバックを行い、実行団体への紹介やJANPIA様への共有を含め、対話相手との事業連携を実現する。

IX. 関連する主な実績

(1) 助成事業の実績と成果
実績なし。
(2) 申請事業に関連する調査研究、連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等
インクルーシブデザイン事業の調査研究。

X. 申請事業種類別特記事項

(1) 草の根活動支援事業	
(2) ソーシャルビジネス形成支援事業	
(3) イノベーション企画支援事業	
(4) 災害支援事業	